

生徒指導の3機能を生かした学習展開（「教えて考えさせる授業」を基盤として）

（仮説1）お互いに認め合い、学び合うことのできる授業（共感的人間関係を育む授業）

（仮説2）自ら課題を見つけ、それを追究し、自ら考え、判断し、表現する授業

（自己決定の場を与える授業）

児童一人一人に学ぶ楽しさや、達成感、満足感を味わわせることができる授業

（自己存在感を与える授業）

※スタディマナー（学習規律・学習ルール）の徹底の基：特に「聴く」「話す」姿を重視

	学習活動	教師の働きかけと児童の意識の流れ	評価(◎) 支援(○) 留意点(・)
つかむ 5分	1. つかむ	【児童に必然性を持たせるためのしかけ】 ・既習をつかう ・予想させる ・理解度の確認 ・具体物や本物の提示 ・立場を明確に 本時の学習課題	自己決定 追究する目的意識を明確に！
考える 15分	2. 教える 5分	※必然性のある課題設定（事実問は避ける：ねらいを意識） ※教えることを明確に！→「知的好奇心」を沸き立たせる工夫 ・算数科 →（問題を解くポイントなど） ・国語科 →（読み取り方法となる言葉など） ・社会科 →（見たり調べたりする視点：言葉） ・理科 →（実験結果、予想パターン提示など）	自己決定 ・やってみたい ・考えてみたい ・追究の見通しを与える
	3. 考える(10) (理解確認)	※何を考えさせるのかを明確に！ ・「方法」 ・「理由」 「根拠」を明確に！ ○友だちに説明する等 「目的意識」を持たせる ○「正答」→「根拠」や「理由」を示して説明 ○「誤答」→誤答の理由を明確に←上手く活用し理解を深める ○「途中」→途中までの考えを説明 ○「わからない」→教え合える学級づくりと教師の関わり ※ペアやグループ活動で！（ねらい達成のための手段で効果的に）	共感的人間関係 お互いの考えを認め合えるような授業ルール！（みんなで共有）
深める 15分	4. 話し合う	※話し合わせる視点を明確に（ねらいを意識） ☆考え方の「根拠」や「理由」を明らかにする場 【意見をつなぎ、深めるために】 児童の発言に対して ▲復唱しない ▲言い直ししない ▲解説しない ※思考力・判断力・表現力を高める発問を準備して！ ※多様な考えを認め、誤答や考えの違いを大切にする授業 ・目指す話し合い学習の姿を児童と共有 ・児童同士がつなげる ・思考を深める板書の工夫（ネームプレートの有効活用） ・協働説明の場の工夫	自己存在感 共感的人間関係 一意見をつなぐー 「聴いてもらえた」 「取り上げてもらえた」 「つなげてくれた」 〔満足感・達成感〕
まとめる 10分	5. まとめる	※「根拠」や「理由」を明確にまとめさせる！ （本時のねらいを児童の言葉でまとめる）	自己存在感 一認め励ますー 「わかった」「できた」 「つかえた」 学んだ楽しさ・達成感 満足感 「わくわく」「どきどき」 「感動」
	6. ふりかえる	○発展問題にも挑戦してみたい ○次は間違わずにがんばりたい ○次は最後まで自分で追究したい ○～さんの考えで自分の考えを変えることができた ○次はもっと分かりやすく説明したい など	

※本時のねらいに基づいた、具体的な児童の姿を明確に（「根拠」「理由」を明確にした姿）